

きもちゆたかな生き方を求めて 里地里山シンポジウム

日時 平成20年3月4日(火) 13:30~17:00
場所 京大会館 (京都市左京区吉田河原町)



里地里山は、人が自然に働きかけて生まれた空間です。里地里山から薪などのエネルギーや建材などの素材、食料などを手に入れ、同時にたくさんの生きものが生息できる共生の場を守ってきました。今、各地の里地里山が荒れています。

その一方で、里地里山は、日本人の原風景をなし、心のゆたかさを育み、教育や福祉、芸術、観光といった面からも再評価されています。

21世紀の持続型社会づくりからも注目を集めています。さまざまな視点から里地里山を検証し、これからの里地里山への参加と保全を考えるシンポジウムです。

ひとりでも多くの方々のご参加をお待ちしています。

きもちゆたかな生き方を求めて 里地里山

平成20年3月4日(火) 13:30~17:00



プログラム

開場13:00 開会13:30

講演 里地里山について語る

- 「芸術の視点から」 北川フラム氏
- 「循環型社会の視点から」 内藤正明氏
- 「美しさ・景観の視点から」 森本幸裕氏

パネルディスカッション

講演者と経済界の方々により、里地里山への思いとあり方をご議論いただきます。

森孝之氏、熊野英介氏、佐藤友美子氏、北川フラム氏、内藤正明氏、森本幸裕氏、環境省



北川フラム

女子美術大学美術学部教授、新潟市美術館館長、株式会社アートフロントギャラリー代表取締役会長アートディレクター、芸術と地域を結ぶ草の根的なプロデューサー。著書:「つながる日本海—新しい環日本海文明圏を築くために」「逸格の系譜—愚の行方」(現代企画室・編著)、「希望の美術・協働の夢 北川フラムの40年 1965-2004」(角川学芸出版)、「大地の芸術祭 2006—越後妻有アートトリエンナーレ」(現代企画室・大地の芸術祭東京事務局編)ほか



内藤正明

滋賀県琵琶湖・環境科学研究センター長、佛教大学社会学部教授、NPO法人循環共生社会システム研究所代表理事、京都大学名誉教授。著書:「環境システム」(共立出版)、「現代科学技術と地球環境学」(岩波書店)、「持続可能な社会システム」(岩波書店)、「エコトピア」(日刊工業新聞社)「里地からの変革 地球環境時代のふるさとづくり」(時事通信社・共著)ほか



森本幸裕

京都大学大学院農学研究科教授 京都大学地球環境学堂教授。著書:「環境デザイン学—ランドスケープの保全と創造」(朝倉書店・編著)、「最新環境緑化学」(朝倉書店・編著)、「森林環境 2007」(森林環境研究会・編著)、「いのちの森—生物親和都市の理論と実践」(京都大学学術出版会・共著)、「ミティゲーション—自然環境の保全・復元技術」(ソフトサイエンス社・編著)、「生態工学」(朝倉書店・共著)、「環境アセスメントはHEPで生きる」(ぎょうせい)ほか



森孝之

ライフスタイルコンサルタント、大垣女子短期大学名誉教授、(株)アイワ代表取締役。著書:「庭宇宙—嵯峨野・アイワ・幸せがすむ庭」「庭宇宙 Part II—循環する庭」(遊タイム出版・共著)「次の生き方 エコから始まる仕事と暮らし」(平凡社)、「「想い」を売る会社—こんなモノづくりが消費者を動かす」(日本経済新聞社)、「このままでいいんですか—もうひとつの生き方をもとめて」(平凡社)、「人と地球に優しい企業」(講談社)ほか



熊野英介

アマタ株式会社代表取締役社長。アマタ株式会社は2005年持続可能経済研究所を設立し、「農林水産業の変革を通じて、美しく豊かな自然の再生と、心身ともに健康でいられる社会の実現を目指す」行動するシンクタンクとして調査研究と、事業プロデュースを行っている。2007年12月、京都府京丹後市に自然放牧の「森林ノ牧場」を開設し、「森林酪農」の普及を開始した。著書:「自然産業の世紀」(創森社・アマタ持続研著)、「思考するカンパニー」(幻冬舎)



佐藤友美子

サントリ一次世代研究所部長 国土交通省交通政策審議会委員、法務省法制審議会委員、環境省中央環境審議会臨時委員等。著書:「U35世代 僕と仕事のビミョ—な関係」(日本経済新聞社・編共著)、「ロストプロセス・ジェネレーション 昭和50年代生まれ、こののかたち」(神戸新聞総合出版センター)、「時代の気分 世代の気分 <私がいり>の時代に」(NHKブックス)ほか

参加方法

参加費無料。
先着申込制です。定員になりましたら締め切らせていただくことがあります。
電話、FAX、電子メールでお申し込みください。
お名前、参加者数、連絡先(電話、FAX、電子メールのいずれか)をお知らせください。
ホームページからも参加申し込みができます。
里なび <http://www.satonavi.go.jp>

お問い合わせ・受付先

財団法人水と緑の感星保全機構・里地ネットワーク事務局
〒105-0003 東京都港区西新橋2-16-2 3F
TEL 03-5404-4846 FAX 03-5404-4847
E-mail h20@satonavi.go.jp

会場への交通 京都駅より市バスD2のりば(206)「京大正門前」下車 三条京阪より京都バス17番のりば出町柳経由系統「荒新橋」下車 京阪電車「丸太町駅」下車徒歩7分 京都市左京区吉田河原町15-9 TEL (075)751-8311(代)

お名前	参加人数	人
ご連絡先	電話・FAX・E-mail (いずれかに丸をつけ、下にご記入ください)	